

# 岐阜県立多治見高等学校

学校長 土本 泰  
学校住所 多治見市坂上町9-141 電話 0572-22-4155

1 会議の名称 岐阜県立多治見高等学校評議員会 (第1回)

2 会議の構成 委員 奥村 崇仁 多治見青年会議所理事長  
近藤 正宏 JR東海多治見駅首席助役  
田牧 朋子 本校卒業生  
長崎 恵美 まちづくり株式会社

(委員名は五十音順)

学校側 土本 泰 校長  
田村 直明 教頭  
稲垣 幸治 事務長  
伊藤 昭嘉 教諭 (教務主任)  
加藤 元規 教諭 (生徒指導部長)  
今井 雅人 教諭 (進路指導部長)  
堀 裕邦 教諭 (特別活動部長)

3 会議の目的 学校運営や教育活動について地域社会や保護者などに説明責任を果たすとともに、要望や意見を幅広く聞き、地域社会からの支援・協力を得て、それを反映できる開かれた特色ある学校作りを推進する。

4 会議の開催 平成27年 7月10日(金) 14:30~16:30 多治見高等学校校長室  
委員4人と学校側8人が出席

## 5 会議の概要

学校からの説明

### ○ (教務主任)

多治見高校の教育目標と教育方針について説明。

待ちの姿勢になってしまうところがあるので、進取の気概を持った生徒の育成を図りたい。

生徒の進路実現のため、2年生から文理選択をしている。朝読書をSHR前に10分間行っているが、生徒達のアンケートでも高評価である。現在中1の生徒から入試制度の変更がされるが、その研究も始めている。7限授業や習熟度別授業など基礎学力充実のための取り組みを行っている。教員自身も授業力向上のため、研究授業や研修会などを行っている。文武両立の実現のため学習と部活動にそれぞれ優先日を設けている。

県内唯一の自然科学コースにおいては今春35名中14名が国公立大学への進学を果たした。自然科学コース独自の校外研修は生徒の事後アンケートでも9割以上の生徒が満足している。

### ○ (進路指導部長)

今年度は昨年度の「目標の明確化と評価過程の充実」「開かれた進路指導の推進」「キャリア教育への転換」という3つの重点に、「新入試への対応」という重点を付け加えた。

昨年度国公立大学に現役で60名合格という目標を達成したので、今年度は70名の合格を目標にして取り組んでいきたい。キャリア教育については本当に大学で自分の進路に向けてやれるのかを考え視野を広げる取り組みをしている。新しい入試は知識偏重から思考力・やる気を見る入試になっている。これからの生徒を支える進路指導を行っていく。

### ○ (生徒指導部より)

5つの実践目標をたてて取り組んでいる。生徒指導は学校全体が共通理解と共通行動をしてい

くことが大切である。教員のスキルアップのための研修を行っており、体罰は許さないという姿勢の徹底を図っている。挨拶については育友会と生活委員会などが協力して取り組んでいる。

遅刻については昨年度より18人減少している。チャイムが鳴りそうでもあきらめずとどろくように指導している。自転車の施錠についてもしっかりと取り組ませている。安全意識を高め、犯罪や自然災害の被害者とならないように伝えている。交通安全についてはハザードマップを作成し、自分の通学路のハザードマップを作成したが、だんだん意識が薄れている。いじめ防止の基本方針を確定し、HPにアップした。4-6月に1件そういう事案があった。「ひびきあいの日」には全校統一LHRを行う。校則内規などの点検と見直しを行い、通学鞆のマイナーチェンジを考えている。主体的に動ける生徒の育成を図りたい。

○ (特活部より)

4月の対面式ではいい雰囲気でも新入生を迎え入れることができた。5月に行ったスポーツ交流大会については、新クラスの仲間作りのよいきっかけとなっている。生徒のアンケートによると満足し充実していたと感じている生徒が増加しており、今年度も96%の生徒が「とても充実していた」「まあまあ充実していた」と回答している。

部活動についても昨日東海大会および地区総体に向けて壮行会を行った。東海総体には陸上・水泳・空手、インターハイには弓道が出場する。文系部では、科学部と文芸部が全国総合文化祭に出場することが決まっている。演劇部も地域のボランティアに参加し、新聞にも取り上げられた。文武両立により、自己有用感を持たせていきたい。

○ (進路指導部より・アクティブラーニングについて)

現在中1の生徒から、大学入試が大きく変わる。そこで、本日6限に見学いただいた数学の授業のように、グループ内で活発に動くような授業を研究している。先進校の視察にも行き、実践のPRもしていきたい。

(教頭より)

今日の評議員会では、前半に授業見学をしていただき、後半に各分掌長からの話を聞いていただいた。感じられたことなど出していただきたい。次回は2月に評議員会を行い、12月に行う学校評価アンケートの結果等ご報告したい。

学校評議員からのご意見・ご感想

意見 1 受け身な生徒が多いとのことだったが、陶器祭りではボランティアで茶華道部が参加してくれていたが、積極的によくやってくれた。地域ではアクティブなのではないか。

こども情報センターで演劇部の話を聞いた。地域が弱くなっているので積極的に出てきてくれるとよいと思う。

意見 2 積極性については全国的にそうではないか。英語の授業は会議のようだった。高校の教育の中で愛郷の部分育てて、働く自分たち、担い手であるという意識を持ってほしい。「変えていく人間」「作っていく人間」を企業は求めている。

意見 3 アクティブラーニングは企業でもやっているようなことで、中高生のころからそうしたことをしているのだと思った。情報の授業を見させてもらって、自分たちの時代では考えられなかった。入社してくる高卒の子もPCがすごく使え、現場で役に立っている。アクティブラーニングでグループワークをすると、話す者と話さない者がいて、声の大きい者が先導していくことになる。先生方はどう思われるか。

学校 我々としても確かに難しいと思っている。ホワイトボードを中において話し合うなど媒体が入ると違う。1年にロジカルライティングの基礎の学習を入れるのも考えていく。

意見 4 授業は落ち着いて勉強されていると感じた。家に中学生の子がいるが、中学では全員挙手を求められ、挙手できないと5→4など、挙手を求められる。今日は次々とあ

てられる授業もあったが、おとなしくて苦手な子もいるのではないか。

家が近いので登下校の姿を目にするが、高校生が横に並んで歩いて、車で通りがかってもよけてくれず、まわりが見えない。

学校 苦情の電話もよくいただく。生徒に注意をしていきたい。

意見5 アクティブラーニングということで、私たちも多治見市をよくしようということではがきを3000枚くらい送り、60代～20代の30人くらいで活動している。話し合いをうまく進めるにはコーディネーターの存在とルールを決めることが大切である。他者の意見を否定しないために意見にはすべて拍手をするというルールを決めたりなどすると話し合いが盛り上がる。下呂で町をよくするにはどうしたらよいかを高校生が話し合い、市に提言した。機会を与えられれば、もっと能動的にやれるのではないかと思った。

アクティブラーニングは今日の授業のように一つの答えを出すようなだけなのか。

学校 授業だけでなく、本校の学校祭では生徒同士が話し合っていて決めていき、フォローし合う姿が見られる。

意見6 毎年家庭クラブから座布団の寄付をいただきありがたく思っている。昨年表彰させてもらったが、今年もできればと思っている。

## 6 会議のまとめ（学校長より）

今日はお忙しい中ありがとうございました。2Dのアクティブラーニングは、わからない子が安心して聞ける雰囲気があったのがよかった。間違ってもいいから意見を言う雰囲気の中で学ぶことが、社会で意見を言うことにつながると思う。本校を選んで入学してきた生徒に少しでも力をつけていきたい。